

平成29年度決算が認定されました

平成29年度決算が市議会9月定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。決算書は市役所の情報スペース、図書館でご覧になれます。
【問合せ】財政課 ☎ 551・1534

●一般会計●
平成29年度の一般会計決算額は、歳入（収入）が265億9,397万2千円、歳出（支出）が260億5,746万9千円で、収支差引額は5億3,650万3千円となり、実質収支額も同額となりました。歳入額は前年度に比べて0.4%の減、歳出額は前年度に比べて0.3%の増、歳出額は1.9%の増となっています。また、29年度から28年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額はマイナスの5億7,558万3千円となっています。前年度との主な決算比較は下記のとおりです。

●特別会計●
特別会計の4会計の決算は、下表のとおりです。特別会計の決算額は、全体で歳入が151億5,618万1千円、歳出が141億8,532万5千円となり、歳入は前年度に比べて0.3%の増、歳出は0.3%の減となっています。国民健康保険特別会計では、収支差引額が4億2,128万6千円の黒字となっていますが、一般会計からのその他繰入金が8億円となり、大変厳しい運営状況となっています。

平成29年度特別会計決算

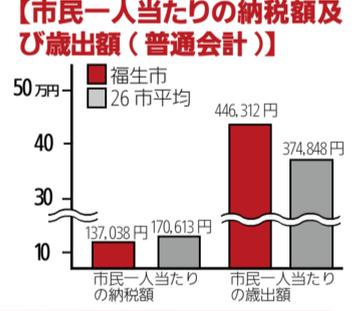
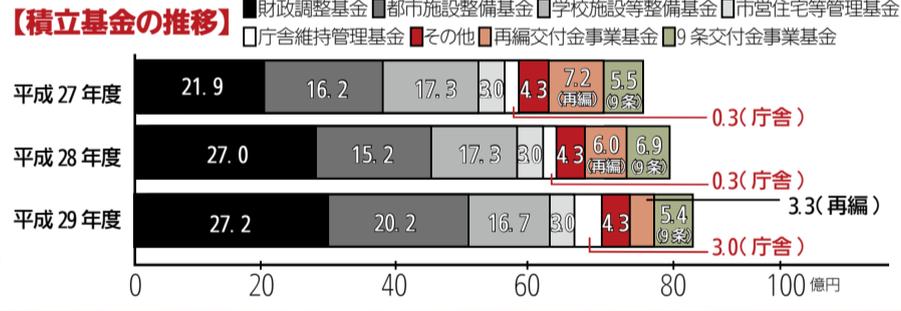
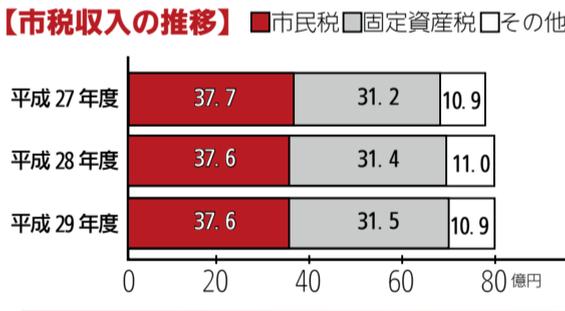
会計	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
国民健康保険特別会計	82億2,221万9千円	78億93万3千円	4億2,128万6千円
介護保険特別会計	41億7,889万円	39億3,861万6千円	2億4,027万4千円
後期高齢者医療特別会計	11億3,906万9千円	11億2,712万2千円	1,194万7千円
下水道事業会計	16億1,600万3千円	13億1,865万4千円	2億9,734万9千円
合計	151億5,618万1千円	141億8,532万5千円	9億7,085万6千円

前年度との主な比較（歳入）

- ・市税 0.1%減**
健康志向の高まりによるたばこ税の減などにより、前年度に比べて市税全体で1,124万1千円の減となっています。
- ・地方消費税交付金 0.1%減**
都道府県税である地方消費税収入額の2分の1が市町村に交付されるもので、127万4千円の減となっています。
- ・地方交付税 7.3%減**
全国の自治体が一定のサービス水準を維持できるよう交付されるもので、普通交付税が869万8千円の増、特別交付税が1億8,160万円の減となっています。
- ・国庫支出金 5.8%減**
障害児通所支援負担金や介護給付費負担金等の増一方で、再編交付金や防衛施設周辺道路整備事業補助金の減などにより3億4,633万5千円の減となっています。
- ・都支出金 2.7%増**
都知事選挙費委託金および参議院議員選挙費委託金が皆減一方で、待機児童解消区市町村支援事業補助金や保育士等キャリアアップ補助金の増などにより、9,814万1千円の増となっています。
- ・繰入金 51.6%増**
財源不足を補うための基金の取崩しなどの収入で、財政調整基金繰入金や皆減一方で、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金繰入金の増などにより、全体では4億8,303万1千円の増となっています。
- ・繰越金 28.8%減**
29年度の前年度繰越金は、28年度に比べて4億5,104万5千円の減となっています。
- ・市債 65.1%増**
防災食育センター整備事業債の増などにより、2億4,280万円の増となっています。

前年度との主な比較（歳出）

- ・総務費 2.1%減**
交通安全対策費や町会関係費、税務・財務・会計事務など、市の業務に必要な経費です。平成29年度決算では、基幹系システム管理事務の電算機更新委託料の皆減などにより、全体では4,842万2千円の減となっています。
- ・民生費 2.4%増**
高齢者・障害者・子育て支援・生活保護などの経費で、国民健康保険特別会計繰入金や臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業の増などにより、2億7,740万4千円の増となっています。
- ・衛生費 2.4%増**
保健衛生や環境対策、ごみ処理などの経費で、福生病院組合運営費負担金の減一方で、西多摩衛生組合負担金の増などにより、4,992万8千円の増となっています。
- ・商工費 0.3%減**
商工業の振興のための経費で、福生市商工会事業費補助金の減などにより、87万5千円の減となっています。
- ・土木費 10.5%増**
道路建設や公園整備などまちづくりの経費で、第二市営住宅A棟エレベーター設置およびAB棟外壁改良工事の皆減一方で、都市計画道路3・4・7号富士見通り線整備事業の増などにより、1億5,650万4千円の増となっています。
- ・消防費 18.2%減**
消防署業務の東京都への委託や消防団等の経費、災害対策費が主なもので、防災食育センター（災害時対応施設）管理事務の皆増の一方で、防災食育センター整備事業の減などにより、4億5,506万2千円の減となっています。
- ・教育費 18.9%増**
教育の充実や文化・スポーツの振興などの経費で、中学校体育館非構造部材落下防止対策事業の皆減一方で、新扶桑会館整備事業の増、給食調理事業の備品購入費の増などにより、5億1,260万円の増となっています。
- ・公債費 1.9%減**
市債（長期借入金）の元利金を返済する経費で、1,548万4千円の減となっています。



地方公会計制度による決算報告

平成29年度決算は地方公会計制度導入後、2回目の決算となり、経年比較をさせるようになりました。

○地方公会計制度とは
企業会計の手法である複式簿記・発生主義により、従来の決算書では分からなかった資産や負債の状況や、減価償却費や引当金等を含むフルコストなどが分かります。

■貸借対照表（一般会計）
平成29年度末における市の財政状況を表します。左側に資産、右側に負債と正味財産を計上し、これらを比較することで、財政に余裕があるのか、厳しい状態なのか、懐具合を知ることができます。

資産（現在保有する財産）		負債（将来世代の負担）	
流動資産	3,418,654	流動負債	938,604
現金預金	536,503	地方債	717,847
収入未済	192,839	賞与引当金	203,056
不納欠損引当金	△28,041	その他	17,701
その他	2,717,352	固定負債	9,907,328
固定資産	251,585,473	地方債	6,430,865
行政財産 ※1	71,655,872	退職手当引当金	3,411,179
普通財産 ※2	4,902,322	その他	65,284
インフラ資産 ※3	167,814,929	負債合計	10,845,932
重要物品 ※4	581,522	正味財産（これまでの世代の負担）	
その他	6,630,828	正味財産	244,158,195
資産合計	255,004,127	負債及び正味財産合計	255,004,127

※1 庁舎や学校などの公共用資産、※2 行政財産以外の公有財産（行政目的で使用しなくなった資産など）、※3 道路や橋りょう、公園など、※4 公用車など1件当たり50万円以上の物品

■行政コスト計算書（一般会計）
平成29年度における市の収支状況を表します。企業会計の損益計算書に相当し、事業実施にどの程度の費用が発生し、どのような財源で補ったのかを知ることができます。（単位：千円）

費用		収入	
行政費用①	22,832,152	行政収入②	22,183,842
人件費	3,575,183	地方税等	13,325,813
物件費	3,769,800	国庫支出金	4,536,134
維持補修費	129,271	都支出金	3,204,995
扶助費	7,813,849	分担金及び負担金	246,713
減価償却費	1,280,281	使用料及び手数料	378,647
その他	6,263,767	その他	491,540
行政収支差額（②-①）…ア	△648,310		
金融費用③	54,721	金融収入④	2,733
金融収支差額（④-③）…イ	△51,988		
通常収支差額（ア+イ）	△700,298		
特別費用⑤	869,373	特別収入⑥	1,224,636
特別収支差額（⑥-⑤）…ウ	355,263		
当期収支差額（ア+イ+ウ）	△345,035		

財務諸表や事業別の決算状況などを分かりやすく説明した「平成29年度決算説明書」と、平成28年度との比較等を説明した「平成29年度福生市の財務書類の分析」を作成しました。市役所の情報スペースや市ホームページでご覧ください。
※財務諸表の数値は表示単位未満の端数調整を行っていないため、内訳の計と一致しない場合があります。

【市役所・保健センター閉庁のお知らせ】11月3日(土)は、文化の日(祝日)のため、市役所・保健センターは閉庁します。【問合せ】企画調整課企画調整担当 ☎ 551・1528